



そよかぜ



今年の干支の“寅”をちぎり絵で作りました

理 念

- ★温かみのあるよりよい医療と福祉を提供します
- ★職員は互いの向上を図ります

基本方針

- ★安全で質の高い医療と介護を提供します
- ★快適な療養環境と職場環境をつくります
- ★人間尊重の経営で効率性と透明性を高めます
- ★地域と連携して医療の継続性、疾病予防と健康増進に努めます

CONTENTS

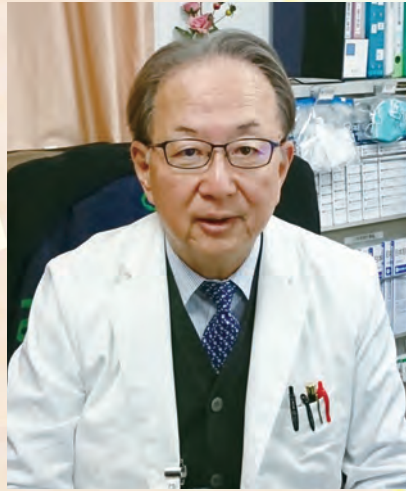
年始のご挨拶 _____ p.1

医師紹介 _____ p.2

シリーズ 私のお仕事 _____ p.3~4

昨年の活動紹介 _____ p.5~6

年始のご挨拶



佐藤病院 院長 小倉俊郎

あけましておめでとうございます。
2022年、令和4年となりました。
気持ちを新たにし、この年を楽しく、充実した
ものにしましょう。

昨年は一昨年同様、新型コロナ対策にあけくれ
た一年だったと思います。岡山でも医療崩壊寸前
の第5波の強烈なうねりの中で、翻弄されながら
得体のしれないこのウイルスに対して試行錯誤を
繰り返し、何とか乗り切ったというのが私の本音
です。ただ、その中でも発熱外来、コロナワクチ
ン接種、院内感染防止に病院一丸となって取り組

み、我々の病院としてできる地域医療・介護を職
員全員の協力のもとに維持することができました。

発熱外来では、開設以来、昨年10月までに
1,445名の患者さんに対応し、その中でコロ
ナ陽性者78名を保健所との協力のもとに医療につ
なげることができました。コロナワクチン接種に
関しては合計7,930回の接種を行い、休日や
昼休憩もいとわず対応した職員の協力で実施でき
ました。主として担当した職員の方々は、緊張の
中で、心身ともに疲労困憊の日々であったと察し
ております。同時に、この一連の過程の中で、私
は佐藤病院の「底力」を感じる事ができた一年
であったようにも思います。

この二年あまり、病院行事はほとんどすべてが
中止になり、新年会、忘年会、歓送迎会をふくめ、
楽しい行事や院内研修会すら満足にできない状況
でした。職員にはお互いを知る交流の場を失い、
福利厚生の中でもさみしい思いをさせてしまった
ことに私自身も心を痛めております。ただ、そん
な中でも決して暗い顔を見せることなく、前を向
きながら笑顔で患者さんや職員に接する姿をみる
と心温まる思いがしました。

今年の大きな出来事として、新年早々に新しい
コンピュータシステム、完全電子カルテ化の導入
が行われ、しばらくは混乱の日々が続くと思いま
す。ただ、医療界にもこうしたデジタル化は必然

の流れであり、これが業務の精度向上、省力化、
職員の負担軽減につながらなければ成功とは言え
ません。また、佐藤病院を利用される患者さんや
ご家族に不利益があつては本末転倒ということに
なります。「電カル（電子カルテ）が 患者じゃ
ないの わたし見て」という川柳があります。患
者さんと目をあわせ、話をよく聞き、適切で温か
い診療が損なわれないように、私自身、心して対
応していく所存でおります。

今年は寅年、猛虎という言葉があるように、勇
敢な性格とすぐれた行動力で、何事にも恐れず立
ち向かい、挑戦していく、という意味があるよう
です。今年は、勇気をもって挑戦して行く年にし
たいと思います。

本年もどうか佐藤病院をよろしくお願い申し上
げます。



注)トラッド…トラディショナル(伝統的)ファッ
ションの略で米国の紳士服の様式

医師 紹介



田村 優典
たむら まさのり

整形外科外来担当医師

■ 専門分野

整形外科一般

■ 診察する上で心掛けていること

患者さんに寄り添った医療を心がけて診療しています。
また、わかりやすく怪我や病気、治療について説明できるよう努めています。

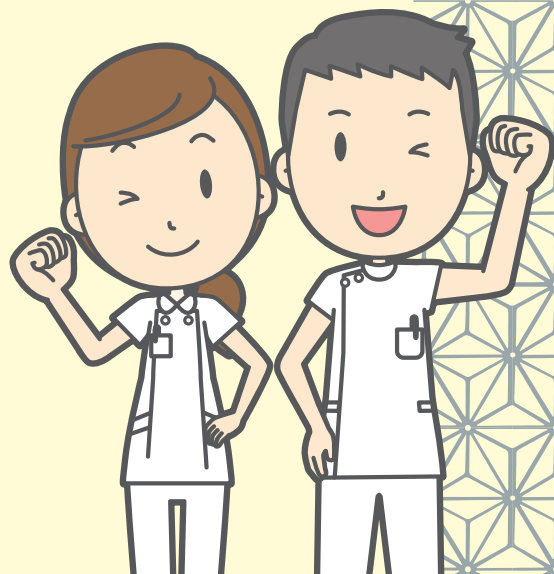
■ 趣味

フットサル、旅行

■ 患者さんに向けたメッセージ

整形外科では肩こり、腰痛、関節の痛み、また骨折や捻挫をはじめとする怪我、骨粗鬆症など様々な治療を行っています。最近では整形外科超音波診療も行っています。

少しでも皆さまのお役に立てればと考えておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。よろしく願いいたします。





すま ゆき こ
外来看護師の須摩 由起子です。

現在の職業を選んだ理由・きっかけなど

私は小さいころ喘息・肺炎を繰り返して、度々入院していました。入院中、看護師さんが働く姿を見ていたので看護師という職業を身近に感じていました。また、母が看護師ということもあり看護師を選びました。

現在の職業を選んだ理由・いなかったら？

幼いころの経験から病院関係の仕事に就きたいと思っていたので、興味のある臨床検査技師の仕事を選んでいました。

佐藤病院に就職を決めた理由

結婚・出産を機に前の職場を退職しました。仕事と保育園を探していたところ、ハローワークから保育園のある佐藤病院を紹介されました。自宅に近かったこと、祖父母のすすめもあり

佐藤病院に決めました。

主な仕事内容

診察や創処置の介助、内視鏡検査(カメラ)介助、採血、注射、身体測定などを行っています。

診察の介助では診察前に血圧測定やお薬は服用できているか・体調はどうかなどお話しさせていただいています。診察室に入ってからでは、患者さんと医師の間に入ってスムーズに診療が行えるようにサポートをしています。怪我や骨折などの処置が必要な時は、ガーゼやギプスの準備をして円滑に医師が処置出来るように心掛けています。

内視鏡検査では胃カメラや大腸カメラの介助を行っています。検査前は緊張されている患者さんもいらっしゃいます。少しでもリラックスしていただけるように声を掛けています。「カメラが思ったより楽だった」とても不安だったけど優しく声を掛けてくれたので安心だった」と言われるとほっとした気持ちになります。



働き始めてから感じていること

昨年7月より3階病棟から外来へ異動しました。外来業務では毎日違う患者さんが来院され、病棟業務ではなかった内視鏡検査の介助や健診など異なる業務で分からない事もありますが、周りのスタッフに優しく教えてもらいながら楽しく仕事をさせていただいています。

徐々に顔や名前を覚えてくださる患者さんが増え、声をかけていただけたときもあり嬉しく思います。

これからの目標・夢

外来看護師として、外来に来られる患者さんやその家族のサポートが出来るように知識を身に付けていきたいです。患者さんや他のスタッフから頼られる存在になれるよう頑張ります。



ある1日のスケジュール

8:30	始業・内視鏡検査介助	15:00	午後の診察介助
12:30	昼休憩	17:30	終業
13:30	部署内情報共有・話し合い、勉強会		



おかざき あつこ
管理栄養士の岡崎 敦子です。

現在の職業を選んだ理由・きっかけなど

高校生のころ読んだ「納豆博士の食養生」(著者 現在倉敷芸術大学須見洋行教授)という本がきっかけで食品の持つ効能について大変興味をもち、母の勧めもありこの職業を目指しました。「食べもので人の身体はかわる」が私のモットーです。

現在の職業を選んだ理由

人に関わる仕事(保育や教育)にも興味がありましたので、その方向に進んでいたかもしれませんが。

佐藤病院に就職を決めた理由

病院で勤務していたこともありましたが、育児のため辞めました。子育ても落ち着いてきたので、機会があればまた病院で働いてみようと思いい、佐藤病院へ決めました。

主な仕事内容

患者さんの病気に応じた食事を考え適切に提供することで、治療をサポートしています。入院患者さんの栄養管理では医師の指示のもと栄養計画を作成し、献立や食材の管理・調理指導を行います。また、栄養サポートチーム(NST)という医療チームを設け、医師や看護師・言語聴覚士などの医療スタッフとともにチームの中心となって患者さんの栄養管理を行っています。患者さんの中には口から十分に食事を摂ることができない方がいますが、多職種それぞれの専門性を生かして意見交換し、患者さんの栄養法を検討します。そして、入院時には患者さんに食事療法について理解をしていただき、早期治療につながるように説明をします。減塩食などの患者さんには退院後の食事について栄養指導を行います。飲み込む力の低下した患者さんにはその方に合わせた食事を提供しますが、退院後も安心して食事ができるよう、家族に調理指導を行ったりもします。外来の患者さんについては、医師の指示のもと、主に糖尿病や高血圧・脂質異常症に対し、治療の一環として食事の改善が必要な方へ栄養指導を行います。

給食業務は委託していますが、入院中も食事を樂し



働き始めてから感じてくると

一つのお膳が患者さんに運ばれるまでたくさんの方が関わっています。その中の一人として自分自身も働いていることに、いつも感謝しています。

これからの目標・夢

患者さんが元気に回復する姿に立ち会えることにやりがいを感じています。患者さんの話をよく聞き、現状や悩みを理解した上で、的確なアドバイスができるように技術や知識・経験を積んでいきたいと思っています。

ある1日のスケジュール

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 8:30 始業 食事変更や食数・献立の確認、情報交換 | 15:00 栄養指導、資料作成 等 |
| 10:00 入院患者の食事対応、NST、栄養指導 | 17:30 終業 |
| 12:30 昼休憩 | |
| 13:30 委員会活動、行事等の計画、栄養管理計画書の作成 | |

昨年の活動報告



院長の古希祝い

この度、佐藤病院の小倉院長が古希を迎えました。昨年10月4日の朝礼で日頃の感謝を込めて、職員による盛大なパースデーソングと共に花束を贈呈しました。

職員表彰

一般社団法人岡山県病院協会の「令和3年度病院優良職員」として看護師より草加美由紀さん、言語聴覚士より榊原敦子さんが表彰されました。



令和3年度岡山市公衆衛生功労者「地域医療事業功労者」として、臨床検査技師の瀬尾京子さんが表彰されました。



地域での講演を 開催しました

10月1日に岡南公民館で「在宅医療・介護のすすめ」についての講演会が行われ、当院から藤原医師と瀬尾臨床検査技師を講師として派遣しました。

藤原医師は「かかりつけ医の必要性について」の講演を行いました。（「かかりつけ医」とは、病気になる時や健康に不安があるときに、すぐに相談できる一番身近なお医者さんのことです。）

また、瀬尾技師は「健康診断の大切さについて」の講演を行い、健康診断を受けることで生活習慣病をはじめ、様々な病気の予防、早期発見・早期治療が出来るという内容の講演を行いました。



外来救急

デモスト

佐藤病院では、緊急時に備えて急変時対応訓練(デモスト)を以下デモストと記載を行っています。

2021年10月8日に外来にて、『2回目のコロナワクチン接種に来られた患者さんが、ワクチン接種後に待合室でアナフィラキシーショックを起こす』という設定で、デモストを実施しました。

患者さんが急変すると、看護師だけでは対応し切れない部分が多いです。特に外来では、他の患者さんもおられる為、その方々の対応もしなければなりません。いつもより大きな声を出し、



事務や技師など他部署のスタッフにも協力を求めます。

全館放送でドクターコールをしたり、心臓マッサージをしたり、点滴や検査等の準備をしたりと、早急な時間の流れに現場は騒然とし、緊張感が広がります。

デモストでは、一人ひとりの役割分担が決まっており、次にどう動くべきなのか決められた動きとなりますが、実際の急変時にはどの役割になるかは分かりません。方が一に備え、毎年各部署で異なった設定のデモストを実施し、判断力・実践力を身に付け、患者さんが安心して外来受診や入院生活を送って頂けるように努めていきたいと思えます。

全日病

学会発表

全日本病院協会が主催する「第62回全日本病院学会 in 岡山」が2021年8月21日・8月22日の日程で開催されました。

新型コロナウイルス感染症蔓延により緊急事態宣言が発令されたことを受け、開催直前に完全オンライン方式に変更されました。

佐藤病院からも、口演・WEBデジタルポスター合わせ計6題が採用されました。

『肝炎ウイルス陽性者掘り起しの重要性と肝炎コーデイナーの役割』

臨床検査技師 瀬尾 京子

『健康診断の二次検査で発見され、診断に至った原発性アルドステロン症の一例』

臨床検査技師 岡崎 優美子

『当院における発熱外来の現状と今後』

看護師 石原 勝

『経口摂取希望の強い重度嚥下障害者に対する医療従事者としての葛藤』

言語聴覚士 野田 心

『生活機能向上連携加算の取り組みについての報告』

榎原 敦子
片山 右京

理学療法士 野口 龍

『コロナ禍での入退院支援―過疎地在住の独居高齢者の支援に関する考察―』

医療ソーシャルワーカー 田中 香緒里



外来診察予定表

■ 診察時間 午前 9:00~12:30 / 午後 15:00~18:00

■ 循環器内科は予約診療

■ 発熱・かぜ症状がある方は、受診前に必ずお電話ください。

時間	科	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	外科	藤原	岡大 (第二外科)	梅森	梅森	岡大 (第二外科)	藤原
	内科	片岡	小倉	片山	片山	片岡	小倉 (池田先生診察日以外)
	専門外来	森田 (循環器内科)		岸 9:00~10:00	岸 9:00~10:00	妹尾 (泌尿器科)	池田 第2・4
	整形外科	定金	定金	定金	定金/田村	定金	定金 茂山 第1・3
15:00 ~ 18:00	外科	岡大 (第二外科)	梅森	藤原	岡大 (第二外科)	藤原	
	内科	小倉	三村	片岡	小倉	片山	
	専門外来	妹尾 (泌尿器科)	三村 (甲状腺)			三木 (循環器内科)	
	整形外科		定金		田村	定金	

※ 診察医は都合により変更することがありますので、詳しくは病院窓口へお声掛けください。



Sato Hospital Group

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人 明芳会 佐藤病院

〒702-8053 岡山市南区築港栄町2-13
 TEL: 086-263-6622 FAX: 086-264-6769
 URL: <https://www.sato-hp.com> E-mail: info@sato-hp.com



医療法人 明芳会

佐藤病院
 老人保健施設 やすらぎ
 訪問看護ステーション ちゃいむ
 通所リハビリテーション
 居宅介護支援事業所

社会福祉法人 一耀会

老人福祉施設 うららか
 特別養護老人ホーム
 ケアハウス ショートステイ
 デイサービスセンター
 ヘルパーステーション
 在宅介護支援センター
 リハビリセンター

地域密着型老人福祉施設 けやき
 特別養護老人ホーム
 小規模多機能型居宅介護
 ショートステイ

株式会社 SHメディカル

グループホーム かえで
 介護付有料老人ホーム あいらの杜 福吉
 介護付有料老人ホーム あいらの杜 新保



編集後記

新しい年を迎え、日に日に寒さが増してきました。新型コロナウイルスもなかなか収束せず我慢の日々が続いておりますが、皆さまにはご自身とご家族を守り、また周囲の大切な方々を守りながら、健やかに過ごして頂きたいと思っております。今後も地域の皆さまとの繋がりを大切に、益々楽しく親しまれる広報誌「そよかぜ」を発行して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

佐藤病院 広報委員会一同

今回掲載させていただきました方々には、氏名・写真等の個人情報に関してご了承いただいております。ご協力ありがとうございました。